

研修報告書

令和3年9月2日

長浜市議会議長 様

長浜市議会議員 浅見信夫

私が出席した次の研修会の結果について報告します。

記

- 1 研修名 地方議員研究会「大変革の時代の自治体病院経営を考える」
- 2 研修期間 令和3年8月3日（火）
- 3 研修会場 資料提供のみ
- 4 研修テーマ ①自治体病院経営最前線2021 ②あなたの地域の自治体病院の経営を診断する
- 5 研修内容感想等

〈研修の概要〉

①自治体病院経営最前線2021

全国の自治体病院では、約6割の病院がコロナウイルスを受け入れたことによる国の補助金で、経営は黒字となっている。コロナ後の自治体病院の経営はどうか。医師・看護師などの雇用を増やし、医療を高度化して報酬単価を上げるなど、医業収益を増やすことが求められる。また、総務省は一般会計繰入金を入れた後の経常収支での黒字を重視しており、自治体からの支援も求められる。

②あなたの地域の自治体病院の経営を診断する

病院の財務状況は結果であり、医師の数や診療科の医療の提供体制を含めた運営状況についての評価が重要。財務分析の基本となるのが「貸借対照表」（一時点の資産や負債の状況）と「損益計算書」（1会計期の収益と支出）である。資本の部で最も重要な項目は「現金及び預金」で、手持ち現金がなければ安定的な経営はできない。2020年度決算では、新型コロナ対応により医業収支比率は悪化しているが、補助金により経常収支比率が向上し、この点で評価をすべきである。

〈研修結果を本市にどのように反映させるか〉

次のような課題に取り組む必要がある。

長浜市病院中期経営計画を策定しているが、地域医療構想での地域医療ビジョンの反映が計画にどのように反映されていくのか。病床の削減ではなく、地域の急性期医療や地域包括ケアシステムを充実させることが求められる。計画の見直しに当たっては、地域医療を支える自治体病院の経営を考えていく必要がある。

長 浜 市 議 会